

## 「年金引き下げ違憲訴訟を支援する大阪の会」加入申込書

「年金訴訟を支援する大阪の会」に入会します



2015年 月 日

氏名または団体名 \_\_\_\_\_

団体の場合、よろしければ担当者名をお書きください  
(お名前 \_\_\_\_\_)

住所 〒 \_\_\_\_\_

Eメール \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

入会金・個人  数 (  ) 金額 ( \_\_\_\_\_ 円)  
・団体  数 (  ) 金額 ( \_\_\_\_\_ 円)

ご参考・入会金  
団体—3,000円 個人—1,000円

★ゆうちょ銀行口座番号 全日本年金者組合大阪府本部  
00930-1-305204

## 若者も高齢者も安心できる年金制度を



この裁判は、際限のない年金引き下げに反対し、憲法25条「生存権」規定違反をはじめ、憲法13条（個人の尊厳）、14条（法の下の平等）、29条（財産権）違反などで争います。また、国連社会権規約委員会の「社会保障を受ける権利に関する一般的見解」にもとづく最低保障年金制度創設など、年金制度の充実を求める勧告の実施を日本政府に迫る運動です。

## 「年金引き下げ違憲訴訟を支援する大阪の会」

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15  
大阪グリーン会館6階 大阪年金者組合内  
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746 o-nenkin@diamond.bfoth.com

## 「年金引き下げ違憲訴訟を支援する大阪の会」 への入会のお願い

安倍内閣は不当にもすべての年金を2013年10月分から2015年4月分にかけて一律に2.5%削減しました。さらに、今後30年にわたって年金水準を20%から30%引き下げ続ける「マクロ経済スライド」を今年4月から実施しました。



年金の引き下げは、高齢者を「総下流老人化」させ、現役世代、若者の未来を奪うことになり、老後の安心を支えるべき公的年金制度を崩壊させることとなります。

年金者組合は、年金引き下げをストップさせるとともに、若い人も高齢者も安心できる年金制度の確立をめざして裁判闘争に立ち上がりました。裁判は、現在33都道府県、原告3,300人以上に広がっています。大阪では8月7日に32人が大阪地裁に第1次提訴しました。さらに、マクロ経済スライドの廃止に向け、必要な手続きを経て100人を超える原告団による第2次提訴を行います。

この裁判は我が国で初めて取り組まれる集団的年金裁判闘争です。都道府県段階で「支援する会」の結成が呼びかけられています。大阪でも「年金裁判を支援する大阪の会」を発足させることにしました。どうかその趣旨に賛同していただき、貴団体、個人の加入をお願いします。

2015年11月

## 「年金引き下げ違憲訴訟を支援する大阪の会」 申し合わせ

- （事務所）この会の事務所を、全日本年金者組合大阪府本部内に置きます。  
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館  
TEL 06-6354-7207 FAX 06-6354-7746
- （目的）この会は、「年金引き下げ違憲訴訟」を支援し、次の活動をすすめます。
  - ①裁判を傍聴します
  - ②年金削減反対の世論と運動を広げます
  - ③支援する会を広げます
- （会の構成）この会は、趣旨に賛同し、入会金（団体103,000円、個人101,000円）を納入した団体及び個人で構成します（毎年の会費はいただきません）。
- （役員）この会に次の役員を置きます。  
事務局長・1名、幹事・若干名、事務局・若干名
- （会議）この会は、総会、幹事会、事務局会議を持つことができます。
- （会計）この会の会計は、入会金および募金、事業収入でまかさないです。会計年度については、毎年4月から翌年3月までを会計年度



## ★ 私たちもこの裁判を支援しています

### 呼びかけ人

井上賢二（大阪社保協会会長）植田晃子（大阪母親運動連絡会会長）大口耕吉郎（大阪生活と健康を守る会連合会会長）小澤力（大阪府歯科保険医協会理事長）川辺和宏（大阪労連議長）川端一歩（あかつき川柳会会長）木津川計（上方芸能編集者）笑福亭竹林（落語家）高本英司（大阪府保険医協会会長）中田進（関西勤労協副会長）西谷文和（フリージャーナリスト）二宮厚美（神戸大学名誉教授）藤川矢之輔（劇団前進座幹事長）藤永のぶよ（大阪市民ネットワーク代表）宮崎守正（大阪高齢者運動連絡会会長）渡辺武（元大阪城天守閣館長）永井守彦（年金者組合大阪府本部委員長）